

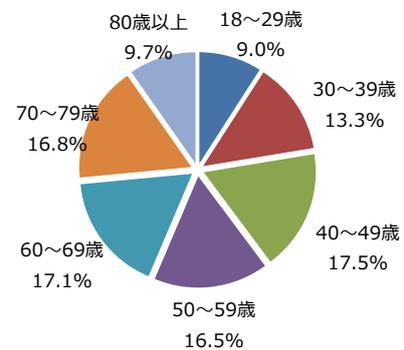
平成 30 年度第 1 回区民アンケートを実施しました！

10月1日から10月22日まで、淀川区にお住まいの18歳以上の方から無作為に選んだ1,500名の方に対して、区民アンケートを実施しました。今回は6月18日に発生した大阪北部を震源とする地震に関する設問を含む、28の設問について回答いただきました。

631名の方からご回答をいただきましたので、アンケート結果の一部を紹介させていただきます。

なお、全てのアンケート結果については、淀川区役所ホームページに掲載するほか、淀川区役所内での冊子配架もしておりますので、ぜひ一度ご覧ください。

＜回答者の年代構成＞

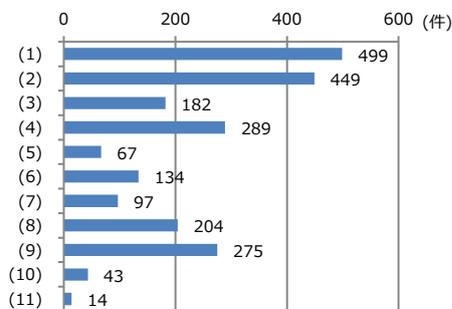


※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%とならない場合があります。

・防災について

「大阪北部地震」の経験を受け、あなたは日頃から自宅でどのような防災対策をしておくことが重要だと思いますか？（複数回答可）

- | | |
|------------------|--------------------|
| (1) 飲料水の備蓄 | (2) 食料の備蓄 |
| (3) 簡易トイレの備蓄 | (4) その他の防災用品の備蓄 |
| (5) 大阪市防災アプリの活用 | (6) 防災マップの確認 |
| (7) 水害ハザードマップの確認 | (8) 家族と被災時の集合場所を確認 |
| (9) 家具の転倒防止 | (10) 自宅の耐震診断や改修工事 |
| (11) その他 | |

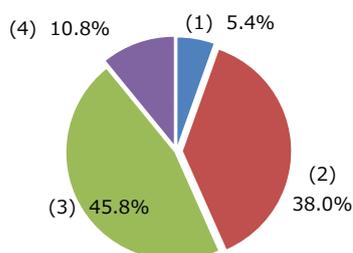


(11)その他については、「寝具付近の落下物排除」「停電対策」「薬の管理」などの意見がありました。

大阪北部地震の経験を受け、区民の防災意識が大幅に高まっていることが分かりました。なお、集計結果を分析したところ、飲料水や食料などの備蓄が重要であると考えている方が90%以上いることも分かりました。

大きな災害が発生した場合、救援物資が届くまでに7日間程度かかると言われていますが、「大阪北部地震」の経験も踏まえ、あなたは自宅で何日分の飲料水や食糧を備蓄していますか？

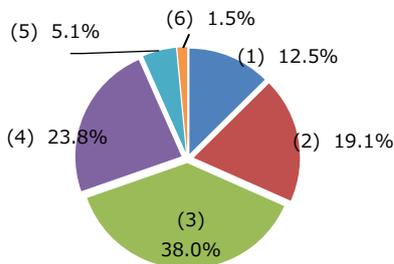
- | | |
|----------------|-----------------------|
| (1) 7日以上蓄えている | (2) 3～6日分蓄えている |
| (3) 1～2日分蓄えている | (4) 蓄えていない（家に水や食料がない） |



約90%の方が飲料水や食料を備蓄しており、大阪北部地震の経験を受け、倍増していることがうかがえました。ただ、推奨される「7日以上備えている」方は5%程度であるという結果を受け、引続き1週間分を目途とした備蓄の重要性について、啓発を進めてまいります。

「災害時避難所」でのペット受け入れについて、あなたはどのように思いますか？

- (1) ペットも人間と同じ場所で受け入れる
- (2) 避難所の屋内にペット専用スペースを設け、そこで受け入れる
- (3) 避難所の屋外にペット専用スペースを設け、そこで受け入れる
- (4) ペットを受け入れる避難所と受け入れない避難所を分ける
- (5) 避難所でペットを受け入れるべきではない
- (6) その他



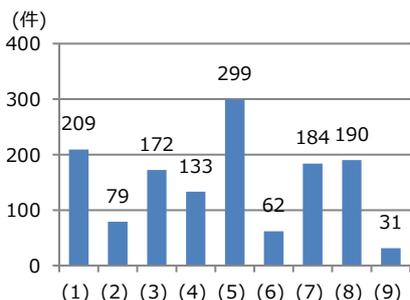
(6)その他については、「ペットの種類による」「気候に応じて検討」「ゲージやキャリーを使用する等の条件を付ける」などの意見がありました。

受け入れ方法には様々な考え方があるものの、約95%の方が何らかの方法により避難所で受け入れるべきであると考えていることが分かりました。

・教育支援について

あなたはどのような分野の生涯学習の講座・イベントに興味がありますか？（複数回答可）

- (1) パソコン・情報通信
- (2) 読書・読み聞かせ
- (3) ことば（外国語含む）・コミュニケーション
- (4) 衣食住・くらし
- (5) スポーツ・健康
- (6) 子育て
- (7) 手作り・ものづくり
- (8) 芸術・音楽
- (9) その他



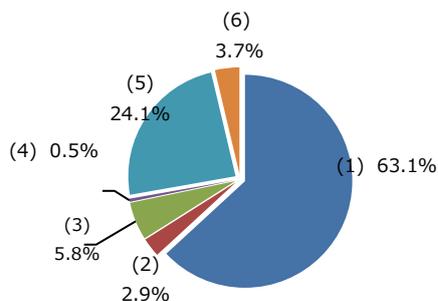
(9)その他については、「手話」、「フリーマーケット」、「アウトドア」などの意見がありました。

「スポーツ・健康」「パソコン・情報通信」「芸術・音楽」などの分野に興味を持っている方が多いことがわかりました。今後、講座の拡充などの取組を検討してまいります。

・高齢者福祉について

あなた自身またはご家族が「もしかして認知症かな？」と思った時に、初めにどこに相談しますか？

- (1) かかりつけ医
- (2) 区役所
- (3) 地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ランチ）
- (4) 淀川区オレンジチーム
- (5) どこに相談したらよいかわからない
- (6) その他



認知症は、早期発見することで進行を遅らせることができます。できるだけ早く相談していただけるよう様々な相談窓口が設置されています。「どこに相談してよいかわからない」と回答された方が20%以上おられました。どこに相談したらよいかわからない方やかかりつけ医のおられない方は、「淀川区オレンジチーム」や高齢者の総合相談窓口である各地域の「地域包括支援センター」や「ランチ」へ、ぜひご相談ください。

区民アンケートへのご意見、お問い合わせは・・・

淀川区役所政策企画課（5階51番） 電話：6308-9683/FAX：6885-0534